# ふるさと(霞ヶ浦を中心とした周辺地域)の歴史・文化の再発見と創造を考える

# ふるさと

#### 第 187 号 (2021年12

月

白井啓治

紅葉に染まって朝露のひとしずく (2008年12月4日)

# 『紅葉に染まって朝露のひとしずく』

を観に行くのは初めてのことであった。 市にきて十年が過ぎたのであるが、 と一緒に袋田の滝の紅葉を観に行ってきた。 われ朗読舞女優の小林さんを誘い、彼女のご両親 今週中に行かないと散ってしまいますよ、と言 実は袋田の滝 石岡

であることを知った。 帰り道を歩いて、エレベーターで昇ることが正解 ばされた。ちょっとがっかりな気分であったが、 凄い人であった。本当はのんびり歩いて観光した 月だかにエレベーターが開通したこともあって、 いのであったが、40分あまりエレベーターに並 光客でいっぱいであった。大展望台へは、この8 平日ではあったが、紅葉真っ盛りで展望台は観

いルール違反をするようなものであった。 込みに逆らって登ることは容易なことではないし、 一方通行の道を逆走するのと同じで、とんでもな 遊歩道は下る人でいっぱいなのである。この人

滝の水量が少なく少々がっかりであった。しかし、

山は美事な紅葉であったが、雨の少ないせいか

と自分を納得させてしまうのだな、と。 あると、本当の喜びを半分にしても仕方がないか 然を満喫したいのであろうが、そこに楽なものが がら思った。本当は皆、往復歩いてのんびりと自 下り専用道路となってしまった遊歩道を歩きな

ますよ、と言われ思いつきに慌ただしくやって来 だって、今週いかないと紅葉がなくなってしまい う周遊コースに嘆いてみても仕方がない。この私 たのだから。 レベーターを待ち、帰り道だけ遊歩道を下るとい えるのだから、そこでまた長い行列をつくってエ 駐車場に入れるのに大渋滞し、やっとこ滝にむか 実際のところ袋田までは、皆車でやってきて、



(絵:兼平智恵子)

#### ふるさと風の会会員募集中!

当会では、「ふるさと(霞ヶ浦を中心とした周辺地域) 文化の再発見と創造を考える」仲間達を募集しております。

自分達の住む国の暮らしと文化について真面目に考え、声高くふる さとを語り、考える方々の入会をお待ちしております。

会の集まりは、月初めに会報作りを兼ねた懇親会と月末に雑談: 勉 強会を行っております。

会費は月額 2,000 円。(会報印刷等の諸経費)

※入会に関するお問い合わせは下記会員まで。

昇三 打田 0299-22-4400 兼平智惠子 0299-26-7178 弓子 伊東 0299-26-1659 木村 進 080-3381-0297 編集事務局 ₹315-0014 石岡市国府 4-3-32 (木村)

http://www.furusato-kaze.com/

った。 このような景勝地にきていつも感じることである ってもまだ聞こえていた。心の洗われた一日であ が、そばを流れる静謐な川の流れの音が夜床に入 素晴らしい事か。 が、時の移ろいの中に自然の刻み込む造形の何と この日は、北茨城市の花園神社にも寄ってきた

7月より約1年間に亘って掲載されたエッセイ (本稿は故白井啓治氏の常陽新聞に2

0 0 8

# 地域に眠る埋もれた歴史(75) 木村 進

# 【常陸国における親鸞の足跡】(1)

浄土真宗の生みの親「親鸞」が常陸国で布教 活動をしていたことはあまり知られていない。 活動をしていたことはあまり知られていない。 た。小島(おじま)、稲田などの草庵を結んで た。小島(おじま)、稲田などの草庵を結んで 信証」を作成しています。常陸国の各地を回る 信証」を作成しています。常陸国の各地を回る 信証」を作成しています。常陸国の各地を回る りにも知られていないことが多く、その存在さ りにも知られていないことが多く、その存在さ りにも知られていないことが多く、その存在さ を疑われたりしたことさえあります。その親鸞 で見ました。

#### 小島草庵跡

いことが多く、細かな事はほとんど知られてい4年後39歳の時に罪をゆるされた。 しかし、4年後39歳の時に罪をゆるされた。 しかし、1年間を経由してこの地に来たと言われてい事には戻らずここ常陸の国にやってきた。 はじま)である。 親鸞の生涯についてはいまだはっきりしなる。親鸞の生涯についてはいまだはっきりしなる。親鸞の生涯についてはいまだはっきりしなる。親鸞の生涯についてはいまだはっきりしないことが多く、細かな事はほとんど知られている。親鸞の生涯についてはいまだは、その一二〇七年、親鸞は越後に流罪となり、その一二〇七年、親鸞は越後に流罪となり、その

場所がポツンとあっただけだ。 たことから名付けられたと言われている) 親鸞がここでの最後三ヶ月間ここに籠ってい 後に、ここにはその子孫によって「三月寺」が 際にここを弟子の「蓮位房」に譲った。 親鸞はここから稲田 確立し、常陸国への布教の足がかりとなった。 は約3年間滞留し、その後の真宗の考えの基を の真中だ。その中に、真中に大きな木が茂った まわりには何もない。筑波山が見える田園地帯 この地に草庵を設けて迎えたと伝えられる。 ない。ただ、小島郡司の武弘が親鸞の徳を慕い、 本願寺の坊官を務めている。 て鎌倉時代から現在に至るまで、 この蓮位房の子孫は下間(しもつま)氏と称し 立てられたと伝わる。 (三月寺の名前の由来は (笠間市) に移るが、 親鸞はここに 東本願寺と西



「親鸞聖人御旧跡」碑

とから「稲田恋しの銀杏」と名付けられている。親鸞を偲のび、稲田の方に枝を伸ばしているこ

えていた。この銀杏は、

ここから稲田に移った

いる。またすぐ後ろに大きなイチョウの木が聳

「四体仏」

尊敬してやまなかったと言われている。 学敬してやまなかったと言われている。 後に親鸞の墓を加えて「四体仏」だそうだ。 後に親鸞の墓を加えて「四体仏」だそうだ。 後に親鸞の墓を加えて「四体仏」だそうだ。

### 稲田草庵跡(西念寺)

ます。なかなか趣のある山門です。山門には「浄土真宗別格本山」と掲げられてい場所は笠間市稲田の西念寺です。を紹介します。



に来た理由が書かれていました。 「幽楼」に掲げられた額には親鸞聖人がこの地



この地で浄土真宗の教本「教行信証」を作成し 親鸞の関東布教の中心であったこの稲田草庵。

鎌倉前期。 稲田九郎頼重の招きでこの地に来た

> また、宇都宮氏六代当主の宇都宮泰綱の遺命に 稲田草庵はその後しばらく念仏道場となって いましたが、数十年後に寺院となりました。 と言われています。 より西念寺と寺号を定めたといいます。



弁円回心の所

度にたちどころに回心した場所です。 庵に押しかけました。しかし聖人の穏やかな態 板敷山に親鸞は現れず、とうとうこの稲田の草 として紹介されています。 山伏弁円が危害を加えようと待ち構えていた これは石岡の大覚寺に「親鸞聖人の法難の遺跡

> 隅々実物を見て植物学的な珍種天然記念物お 葉つき銀杏であることが確証された銀杏は化

参詣あり

入るさの山の端の月」 「あだとなりし弓矢も今は投げ捨てて 西に

念仏者にとって特になつかしいものである。

(現地案内板より一部を抜粋)

木に出来る現象でもないのであるが、それが聖 石の植物と言われ百万年以前のものである老

人が蒔きし給いしものであって見れば参拝の

弁円詠歌

境内にはその他に、親鸞が植えたといわれる銀 るわがこころかな\_ 「山もやま道も昔に変らねど 変わりはてた

> ます。 杏の古木があり、「お葉つき銀杏と呼ばれてい



世界的珍種御葉つき銀杏

銀杏の実を葉に包みて蒔き給いしところ葉先 往古より言い伝えに親鸞聖人御草庵の庭前に

に実る不思議ありと東京大学農学部向坂教授

# 海外旅行の思い出(8) 木下明男

### 2度目のイタリアツアー

いる。 製がウインドに飾られている。 ら白み始めた機外には、マッキンレー山脈が見え る。同じ労音の活動をしていても、 ジ経由)のため、時間がかかった。 長:木下明男) リアのベネチア室内楽団とラウラ・デ・フスコ 団長に木下明男)。その翌年、 店まである。 スカらしい?空港内は全部が日本語表示で、 違うので情報交換に話が弾む。 ベナ航空(ベルギー)、九州労音の代表と同席にな でソ連上空を飛行できず、北極回り(アンカレッ アニスト)の招聘のため、全国から8名の代表(団 の民族音楽の合奏を披露(団長に函館のS氏、 のミラノ・フィレンツェ・ローマを訪問し、日本 ロマーナ州の劇場組織)の斡旋により、イタリア 名が、アーテル(イタリア北部にある、 て降下が始まり間も無くアンカレッジに到着。空 に進む機外の景色は夜が長く続き、午前 3 時頃か 雪山の白と雲の白が重なり合い壮大だ、 1982年3 多分自家用機なのであろう?如何にもアラ 小型の単発機や双発機が処狭く駐機して 大きな (3 M 位) 月、 が派遣された。此の頃は、諸事情 全国の民族音楽教室連合会8 1983年9月、イタ 午後の出発で北東 グリズリーの剝 機は成田発サ 地域によって エミリア・ やが 和食 副

アンカレッジ出発から1時間ほど経つと、北

あった。 見える。連なった山々には白い化粧を施して地上 V. 機内騒然とするが、労使交渉が解決し無事離陸。 ランドと思われる巨大な雪原(氷原)が見事であ た。そして、ミラノ空港に着陸したのは 5 時前で も充分にアルプスを堪能させるサービスに感心し きた。機を左右に振らして、右側の席も左側の席 に隠れていたが突如と開け、眼下にはアルプスが で食欲はわかない。アンカレッジから8時間建っ に成田から都合4回目の食事、いささか食傷気味 極海に浮かぶ氷山が点々と浮かび、やがてアイス 90 人乗りの小さな機に変わったため揺れが激し 込むと、突然ゼネストのため 24 時間待機だとか? てブリュッセルに到着。 面に広がり、壮大な自然美を垣間見ることがで 窓が閉められ映画の上映が2時間、終了と共 間もなく 5 回目の食事がでる。外の景色は雲 乗り換えの飛行機に乗り

> 戻り、 その後フスコのミラノ事務所で打ち合わせ、5 られ、全員がずぶ濡れになる。昼食は、 堂を見学、塔の屋上まで登ったが突如の雨にたた 席(マリアテレサの席)や舞台下の仕掛け にある世界的な歌劇場「スカラ座」(キャパシティ エミリア行き、早朝の出発なので早めにホテルに 後にベネチアで会うことを約束。翌日はレッジオ ン「トスカ」ボンゴレ他とワイン(独製)を注文。 舞台)等々を見学。バルで一休み後、 2030人)を見学、ステージ右側のローヤル 氏宅を表敬訪問し、 ゆっくりとする。 旧市内を散策。 翌日はミラノ ミラノ大聖 レストラ (回 り 日

があり、 待され、 事の歌)と弦楽トリオを鑑賞、そして市長の挨拶 と似た劇場の鑑賞組織のあるところです。 イタリア四日目以降は、次回で・・・! 動。予定と違ったハプニングがあり、降雨もあり、 ニタ祭」(イタリア共産党のアカハタまつり) に招 な文化関係者を紹介される。その後、開催中の「ウ 市の関係者から文化行政、催し物等を拝聴、色々 各国から集まった代表団との懇親会を満喫する。 しい劇場を案内して、その後、 オエミリア)の劇場に到着。アーテルと言う労音 北イタリアのロマーナ州にある小さな市(レッジ 大変な一日であったが無事終了する事が出来た。 んだ。宿泊ホテルのあるモデナ市にタクシーで移 イタリア三日目、朝7 時予定通りホテルを出 そのままステージ上でパーティになる。 降雨の中であったが、色々見学して楽し 合唱団の演奏(食

# 老~い、どん! 伊東日

むのを後回しにした。

なのを後回しにした。

なのを後回しにした。

なのを後回しにしたの方との話らいや、ぼやきの中にしたある漁村にあった人間愛も含めて老いてから考えてみよう、と意気込んだ。そして遠い昔、から考えてみよう、と意気込んだ。そして遠い昔、から書き出しで始まる老いを考える本を知人かという書き出しで始まる老いを考える本を知人かるのを後回しにした。

○カアーカアー、カアーカアーカ

を大力である。 を大力で表していったらきりがない。あくあ疲れた一大手を出ていったらきりがない。あくなったけたしたり壊したり仕勝ちだ。忘れっぽくなったけたしたり壊したり仕勝ちだ。忘れっぽくなったけたしたり壊したり仕勝ちだ。忘れっぽくなったけたしたり壊したり仕勝ちだ。忘れっぽくなったけたしたり壊したり仕勝ちだ。忘れっぽくなったけたしたりない。おの世が入らなくなった。一瞬確り立てない、ふらつく。立つ座る、歩き出しが実に遅くなった。膝のは神神ばしが辛い。歩くのに力が入らない、だからは、もとへ戻ると思い出す今はいいけれど、其のため、立つ座る、歩き出しが実に遅くなった。膝のは、状況そのものだ。腕に力が入らない、だからは、神神神はしが辛い。歩くのに力が入らない、ためられて挙げていったらきりがない。あくあ疲れた一件みしよう。どうしようない。あくの私がその様子、子育ての頃の姑や父、母の言葉を出そう。といいによりによった。

そっちへブーラブラ ブーラブラ おっちへフーラフラ フーラフラ カーミぶくろをぶらさげて 田ん中の、田ん中の、カクさんは 中に、

だったのだろうが、そこに節がついてみんなで唱

想い出と共に歌声が聞こえてくる。囃子ことば

■が滑って一等賞禿の真ん中は運動場頭の真ん中に禿がある耳だれ、目はやんめ

と共に励ましたり、ともに悩んでくれる仲間も乏 ない内に葬られていく。況してや頑張っていこう くれる人も少なく、亡くなっていく悲しみも知ら 山の人と係わり一人一人の歴史がつくられていく。 漁場育ちのみっさんは、環境が変わって農家の生 なってからだという。二人の馴初めは川で溺れて では、村のリーダーでみんなから何でも相談を受 からの時代はどうだろう。産まれた喜びを知って 活になったのだから苦労はあったろう。 でもその いたみっさんをカクさんが助けたことだった。 け統率できる人だったが、六十過ぎて間もなくフ しい時代になるんじゃなかろうか。と思いつつず ―ラフラ始まった。連れ合いのみっちゃんが亡く っと以前の人間愛のあった話しを思い出していた。 一所に生きてきた人達の姿がわかっていた。これ 囃子うたに出てきたカクさんとは六十歳ころま 人には生きてきた姿がある。その時代の中で沢

> く歩めて褒めてていた。野佛の囲いはいつもきれ だった。秋になれば畑の収穫も忙しかった。紅葉 夏の野良仕事も秋の台風の後始末も限りない苦労 き乱れる中から一本摘んで髪にさし楽しんでの生 きな喜びだった。 り、知っている人の話しが聞けたり出来るのも大 の人等もみんな達者でやっているようで安心した った。漁師仲間の集まりで会ったんだとか、実家 ても幸せ一家だった。漁場の方から魚売りに来る 人から羨ましがられ、食べていく苦労は尽きなく 楽しさでいっぱいだった。似合いの夫婦と村中の 菜の花、麦、蓮華草の彩りを待つ冬場も春を待つ いにしていた。漁場には見られない農村の三色の は繕い物、縄綯え、優しいみっさんの力は姑もよ も里山を包み、冬支度の準備も進んでいく。冬に った。それは、年明け初めての収入だtらからだ。 た。菜種を持って油屋へ行く喜びは子供のようだ 活、現金収入の少ない百姓仕事も倹しく支えてい の彩りに声をあげ喜び、田に伸びていく蓮華の咲 麦踏みの冷たさも緑が伸びる春を思い、菜種の花 苦労を楽しく乗り越える力を持っていた人だった。 人がみつの実家の話など聞かせてくれることもあ

息子が嫁を貰い、娘が孫を連れて行き来してい息子が嫁を貰い、娘が孫を連れていくのも世のだ、そんな幸せがある日突然壊れていくのも世の常か。みつは亡くなった。長患いすることもなく常か。みつは亡くなった。長忠いすることもなく

ったない。」と共通の話しが尽きなかった。骨格がおしゃべりは尽きない。「年とるっちゃ、悲しいこ日向ぼっこ時の話しはどこにでもあるように人の野良仕事の一休みに、用たしの行き帰りに冬の

になるわな。そこへいくと男ていらはいいわな。 そも転がってくる。鼻くそもたまにとび出す。歯 ると目やにがべったり、素直に目が開ねえ。耳く いている様子がどうも変だわ、おめらも見た時は いる。そんなこと言っていたが、「そういえばこの くなるから始末が悪くなるわなあと、大笑いして と大笑い。後の方にある、糞袋、の紐もしまり悪 に引っかかる、匂いがくっついてるんだろうと気 がよく腰巻捲くって立小便していたが、あちこち だんだん下賎な話題になっていく。昔の婆さん達 ところきらわず、仕様がないわな。話しは尽きず ってよだれもでてくる。あ~あ、出もの腫れもの、 くそも溜まると腐いしなあ。口のしまりが悪くな くてな、掻けば掻くほど痒くなるなあ。目が覚め 触ってもぬける。その揚句禿てくる。体全体が痊 でなくじゃが足になっぺ、髪も薄くなった。一寸 わるくなったったペ、腰が曲った。足も真っ直ぐ 内にあの囃子歌を子供らがうたいだした。 、をかけてやれと心配が始まった。 そんなこんな カクさんが少しおかしいんだど」という。歩

うんこぶくろをぶらさげて田ん中の、田ん中の、田ん中の、カクさんは

したんだ」と言って川に入って蜆や烏貝を採って事をしていった。カクさんは菜の花が咲くととて言い出した。そしてカクさんの動きに合わせて仕言い出した。そしてカクさんを主に面倒みるとはいやがるし大変だった。近所にいる小学校から始末は夏には川さ行ってながしてやれたが、冬場始末は夏には川さ行ってながしてやれたが、冬場が下は別のあたりを突っついたり悪さをした。糞の本のが、と言って川に入って蜆や烏貝を採って

そんな日が重なって何年か経った。でさんも連れ合いとうまく連絡取り合っていた。か一回にもなる。寒さが加わってもお構いなし。ひなったが、「みつは何処行った」と聞く。一日に何なったが、「みつは何処行った」と聞く。一日に何は大喜びだった。山へ薪木取りに行くと帰りは薪は大喜びだった。山へ薪木取りに行くと帰りは薪

婦とみつが「また来年の盆に来っからね」と手を とに山の坂まで歩いた。爺さん、婆さん、 俺も行くど・・・」と、手を引いて提灯の灯をも 呼んで話しかけていた。盆まいりに来てくれた人 時を過ごしていた。みつよ、みつ、と何度も名を を擦っていた。盆の三日間、カクさんは穏やかな だな、何しなんだ。何の仕事してたんだ」と、手 やいでいた。山の上り口で火をつけて「さあ、ご さん皆くるぞ、いいなあ、カク」と言われ、はし の中に先祖の影が浮かび上がり、その夜、 放した。「みつ俺も行く、みつと一所だ」と、みつ って行った。おくり盆の夜、家の人が供えた物を ひでさんも時々顔出ししてくれたが、安心して帰 にも「みつがな、みつがよ」と、みつの話をした。 家さ行くべ」と手を引いていた。「みつ、冷てえ手 なんでこんな所にいたんだ。さ、早く帰えっぺ。 たよ」と声をかけ、ロウソクに火をつけた。「みつ、 先祖さまおいでなさい、みっちゃんもむかえに来 を出た。「みっちゃんやもっと前の前の爺さん、婆 浴衣を着て「本当にみつは来るのけ」と喜んで家 夫婦のことを急き立てて出かけて行った。新しい むかえに行くべえ」と、声をかけた。喜んで息子 んの姿が横たわっていた。ここまでみっさんと「 に飛び掛った。そしてそのまま倒れた。線香の煙 いもの葉に包んで出かける時「みつ、何処さ行く、 むかえ盆の日、両親が「カクよ、みっちゃんを 、息子夫 カクさ

十六日朝、故郷のおくり盆を見に行った。下高かったよ」と、安堵の気持は隠せなかった。爺さん、婆さんは「カクは幸せに行ったんだ。よ緒に生活した幸せの中であの世へ旅立って行った。

中六日朝、故郷のおくり盆を見に行った。下高 十六日朝、故郷のおくり盆を見に行った。下高 十六日朝、故郷のおくり盆を見に行った。下高 中には、地域の人達がおくり盆の線香の燃え尽きた には、地域の人達がおくり盆の線香の燃え尽きた には、地域の人達がおくり盆の線香の燃え尽きた には、地域の人達がおくり盆の線香の燃え尽きた でが盛った土に残っていた。燃えかすの紙くずな だはまかった。この地区の人々の丁寧さが伺われ とはまかった。新しい住民の人も故郷を偲び、 つきて灰があった。新しい住民の人も故郷を偲び、 でが和んだ。わたしも姑と一緒に送ってきたおく 心が和んだ。わたしも姑と一緒に送ってきたおく り盆を十六日の朝送っていった。

きたい。受けとめ、自分なりに工夫し、努力して生きてい受けとめ、自分なりに工夫し、努力して生きている。

さあ!本を読むか、どうしよう。



#### 太子古墳

#### 小林幸枝

食(あんじき)あたりです。の看板を見つけました。場所はかすみがうら市安向かいました。するとその道沿いに「太子古墳」い物した後、帰るのに少し遠回りして石岡行面へい物した後、帰るのに少し遠回りして石岡行面へ

なにか興味を覚え立ち寄ってみることにしました。

大変驚きました。 古墳がこれほど道路際にあることはとても珍しく、り、墳丘は残っておらず、石室のみの古墳でした。するとこの古墳は道路脇を入ったすぐの場所にあ

「太子のカロウド」と呼んでいるそうです。の横穴式石室が開口しているのみで土地の人々はの前方後円墳であったそうですが、現在は後円部おり、説明看板によると、元は全長約60メートルこの太子古墳は、茨城県指定史跡に指定されて

かれていました。 部では稀なる貴重な古墳として注目を集めたと書描かれている装飾古墳として発表され、茨城県南外)氏によって玄室左右の壁面に朱の丸紋が多数明治23年に発見され、大正年間、大野延太郎(雲

である。と表記されています。 6 メートル、奥壁の巾1・3 0 メートル、玄室の高さ1・3 5 メートル。石材は雲母方岩で、の高さ1・3 5 メートル。石材は雲母方岩で、の高さ1・3 5 メートル、玄室

から、これも「唐櫃」から来ているのでしょうね。お墓の下、お骨を納める空間は「カロート」ですら」は、唐櫃の「唐」が語源という説もあります。びつ・かろうと)」です。亡骸(なきがら)の「が遺骸を納める棺も脚がついていれば「唐櫃(から

りません。 石室の中に入れるようですが、私は入る勇気はあ

なり入れませんでした。 ながら入ると、罰か祟りになりそうで、少し怖く2 遺体分の骨が発見されたそうですから、無茶し



# 新たな挑戦 9

菊地孝夫

しょう。村。時代設定としては、かなり古いものになるで村。時代設定としては、かなり古いものになるでものがたりの発端は、房州九十九里浜のとあるいま、無謀にも小説を書こうかと考えています。

そして果ては上州高崎・茂林寺のぶんぶく茶釜の国で小さな騒ぎが起きてしまいます。鰻と狸、果ては竜までもが登場して、ここ常陸

の伝説のお話へと続いていく予定です。

〈勤勉と怠慢と〉

左端に座りました。で、会場は満席となっていて、やむなく最前列ので、会場は満席となっていて、やむなく最前列の加しました。10分ほど到着が遅れてしまったの思いついて、石岡市立図書館での短歌講座に参

ずつに丁寧に添削指導をされました。 生より板書されて紹介されました。それら一首たる方から寄せられたもの二十首ほどが、講師のたる方から寄せられたもの二十首ほどが、講師のたる方から寄せられたもの短歌会のメンバーに当数首ずつ読み上げながら解説してくれました。

上がりに欠けたものとなりました。直なところ折角の企画も出席者の数の割には盛りも、例のごとく積極的に発言する者もなくて、正わざわざ、質疑応答の時間もあったのだけれど

一人一人が、日ごろの思いを筆に託した労作なくない。

アタマを掻いておられました。)に入れてきたけれど、うっかりしてしまった、と(もちろん講師の先生は事前の調べで読み方を頭

4、はなはだ淋しい限りでもありました。 発言者が私を含めてたったの二、三人というの

しかないでしょう。来て下さった講師に対しての、礼を失した行為で来て下さった講師に対しての、礼を失した行為で

る私の思いなのです。ておかなければならない、というのがいつわらざ和歌を嗜むのであれば、これくらいはわきまえ

ないと思うのです。 しているだけでは何のために出席したのかわから 講師の先生の出退の時に、ただ儀礼的な拍手を

たようです。やり取りは、固定電話の仕事をほぼ奪ってしまっやり取りは、固定電話の仕事をほぼ奪ってしまっにどんどん分け入っています。今やこの空間での(略称:スマホ)でもってインターネットの世界(のか)に、手にしたスマートホンこうした日々の合間に、手にしたスマートホン

きる時代となりました。るし、或いは複数の相手との会議なども容易にでるし、或いは複数の相手との会議なども容易にでそればかりではなく、安い料金で外国とも話せ

別です。

別です。

別です。

の国の中枢を任される人物となると話はも一定数います。それが笑い話ならいいのですが、も一定数います。それが笑い話ならいいのですが、た事実です。 現役世代でも使いこなせていない者残されてしまった多くの高齢者などがいるのもま残されてしまった多くの高齢者などがいるのもま

聞かないと、使えるようにはなりません。の悪い機械でもあります。現に何時間もの説明をまた、スマホは初心者にとって極めて使い勝手

〈脱、炭素化社会〉

こも、信用はおけませんね。ここへきて唐突に「脱原発」を言い出した人達

連中が混ざっています。どううとか言い出している人々の中に怪しげなましてや、急に「カーボン・ニュートラル」が

や環境後進国と化してしまっています。
問題に対して八○年代辺りから後退を始めて、今動きのことを言います。残念ながら我が国はこの生紀の一レベルまで下げようという世界的なイの元凶とされる二酸化炭素の排出量を、昔の一化の元凶とは炭素原子:Cのことで、地球温暖

を連続受賞するというありさまです。)反対する国際的な団体からの不名誉な「化石賞」反対する国際的な団体からの不名誉な「化石燃料に

年の差をつけた国だというのに。も上げるという離れ業で、各国の自動車業界に数かつては車の排気ガスを規制し、その中で燃費

気ガス技術を開発せざるを得なかったからだ。低れた脱硫装置を開発して、硫化水素などの有害は一つには国産の石炭の品質が悪くて、中国やオは一つには国産の石炭の品質が悪くて、中国やオガスを取り除く技術を短期間で発達させた。これがったことと関係があるであろう。やむなく、排かったことと関係があるであろう。やむなく、排かったことと関係があるであろう。やむなく、排かったことと関係があるであろう。やむなく、排かったことと関係があるである。

していたからに他なりません。れというのも、旧式の携帯電話にいつまでも固執携帯」と呼ばれるようになってしまいました。そった結果、いまや日本の携帯電話は「ガラパゴス」以前には、携帯電話の先行きをすっかり読み誤

COP26の共同声明は、会期延長して紛糾し

ってしまいました。 たあげくに、かなり後退した残念な数値目標とな

ってはお茶を濁しただけに終わってしまった。方針は採択できずに、水素燃料車への転換とか言産油国への忖度から、大胆な脱ガソリン車という日本は、自動車産業界への配慮から、あるいは

ました。
結果をあらかじめ予見して、非難の声を上げていりさんのような若者たちが、こうした後ろ向きなりさんのような若者たちが、こうした後ろ向きな

コロナに明け暮れた一年でしたが、よいお年を。



# 金丸わはは通り兼平智惠子

ります。が常屋国の大掾として君臨する事になが常陸国の大掾として君臨する事になの介として赴任しました。その子、平良望(国香)桓武天皇の曾孫高望王は平の姓を賜り上総の国

ます。(じょう、大掾と小掾)・目(さかん、大目と小目)」となり(じょう、大掾と小掾)・目(さかん、大目と小目)」となりさせた地方官)の役職名で「守(かみ)・介(すけ)・掾介そして大掾とは国司(律令制で朝廷から諸国に赴任

した。十年間、常陸大掾氏としてその支配力を発揮しま中年間、常陸大掾氏としてその支配力を発揮しま平国香から一五九十年二十四代の清幹まで、六六常陸国の中心であった石岡に、西暦九三十年初代

により大掾氏と言う家名となった全国でも珍しいこのように大掾という役職名が、世襲されること

臣団を率いていました。 児所(こにしょ)・弓削(ゅげ)の六名家と呼ばれる家大掾氏は中宮部・香丸・金丸・税所(さいしょ)・健例となっています。

描いた童話をご紹介します。 金丸通りをモチーフに故白井啓治代表が近未来をこの中の金丸氏の住んでいたと言う、街中の通称

ことば座文庫

代に鈴の宮稲荷神社となる)であったといわれています。

二00六年十二月十日発行金丸わはは通り

発行者 小林幸枝 (白井啓治)

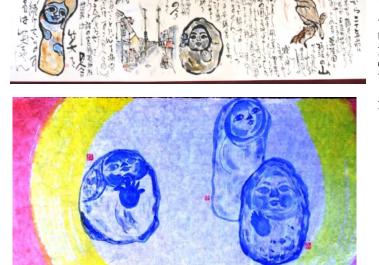
発行所 ことば座出版部

金丸町は江戸時代から昭和 まで使われた町名で金丸町は江戸時代から昭和五十二年四月一日より住居表示法施行により昭和五十二年四月一日よりは居表示法施行により昭和五十二年四月一日よりは「ある。と書かれてあり、この町名が出たといんである。と書かれてあり、この町名が出たといる。

ている道路です。 石岡プラザホテルや鈴の宮稲荷神社等が、前にしに残されています。石岡駅から徒歩で三、四分、原建しい事にこの貴重な町名は「石岡のおまつり」

茨城県の「茨」が彫られてありました。またまた屋さんの入口の側溝の分厚い石には一つ一つそしてこの道路は県道です。と言われ、つり具

天皇から給せられた鈴を祀ったのが鈴の宮(江戸時建て保管したと言う。この駅制が廃止された時、駅家には天皇から与えられた駅鈴があり、駅蔵を宮稲荷神社は古代官道駅家のあった場所と言われ宮稲は天皇から与えられた駅鈴があり、駅蔵を書したとうますように。そして通りにあります鈴のりになりますように。



見修作という人がいました。 千代田町の長興寺で五百羅漢さんを彫っていた鶴

書見さんがまだ青年だった頃です。金丸通りの の宮稲荷神社の彫刻をしていました。学校へ行 学をしてくれ、元気を分けてくれたのでした。 がをしてくれ、元気を分けてくれたのでした。 がをしてくれ、元気を分けてくれたのでした。 と検 といと、鶴見さんは笑い童子を彫って通学路に置 しいと、鶴見さんがまだ青年だった頃です。金丸通りの

をご覧いただきますように。 この続きは ことば座文庫「金丸わはは通り」

が長興寺で皆さんをお待ちしているはずです。描いた中の笑い童女や五百羅漢さん(〒成十七年作)に、全面の彫刻も鶴見さんの彫刻です。 描きました中の鷲は鈴の宮稲荷神社の後方両側

参考資料 歴史散策コース案内

○ ほほえみの童女と 三羅漢さんと 三羅漢さん

智惠子

### 風と共に 《理》

#### 八輪啓展

今月のテーマは、「ルール」毎月違ったテーマにて書かせて頂きます。

がですか? 最近特に寒暖差の激しい日々ですが、体調はいか

いましょう。 ためにも、暖かくして温かい食事を摂って元気で まだ油断は禁物ですね、身体の免疫力を下げない コロナの感染者が落ち着いて来ていますが、まだ

にある程度のルールがあります。どんなものにも、どんな状況においても、一般的

では、ルールとはなんでしょうか。で日々生活しているのではないでしょうか。皆さんの生活の中にも、無意識にそのルールの中

す。
は自分を守る為に必要な事であると認識していまして不快と思われない様にする為の、ある意味でらない決まりや、集団生活に於いては他の個に対らない決まりや、集団生活に於いては他の個に対ルールとは、社会通念上で最低限守らなければな

コンプライアンス、法令、条例、規則等々

数存在しているのか、皆さんは考えた事がありま何故この様に守らなければならない決まりが、複

らですよね。
簡単に説明するとしたら、統制が取れなくなるか

ルールが無い状態では、ただの動物と同じです。

す。おそらくそこには、単純な弱肉強食となるはずで

ルールが存在しなければ、正しい事を正しく実行れールが存在しなければ、正しい事を正しく実行のかになるに連れて、ある程度敷かれたレールのこうなるの?と、疑問に思う事も多々ありました。こうなるの?と、疑問に思う事も多々ありました。こうなるの?と、疑問に思う事も多々ありました。こうなるの?と、疑問に思う事も多々あります。

受けているのです。 良かれ悪かれ誰しも必ずその恩恵は、様々な形で

ればなりません。て行行のか、そこにもある程度の疑問は持たなけそれでは、そのルールは誰がどの様にして作られ

1 番良く無いと私が思うのは、何も考えずにただ1 番良く無いと私が思うのは、何も考えずにただ

て来たわけでは無いはずです。ルール事体空から降って来て、いきなり使用され

法令や条例など、ある程度の地位と人脈などが無

か?
先だとか、通っている学校等ではどうでしょうでいるコミュニティであるとか、働いている勤めければ変えられないもの以外、例えば自分の住ん

知り得たなら、積極的に行動すべきと思います。分にとって良くなる方法があるのならば、それをですがもしその状況に対して皆んなにとって、自勿論何かを変えるには、時間と労力が要ります。

ますか?という事を、もしあなたがそれを知った時どうしるごく一部の人達に有利な世の中に生活しているその他大勢は知らないんです。権力や資金力のあ

いますか?

きますか? らないと、勇気と決断を持って壁を壊そうともがそれとも、出来るかどうかは動いてみないと分か

えるのではないでしょうか。ってみるのも、新たな人生としても味があると言ってみるのも、新たな人生としても味があるとまジして、自分へのご褒美とも言える達成感を味わたかだか数十年の人生、一歩踏み出してチャレン

色をつけて歩んでみませんか?? 自分の生きた道、これから進むべき道に、新たな

てくるかもしれませんよ?普段目にして感じている世界も、全く違って見え

それではまた来月お会いしましょう。

### 【風の談話室】《読者投稿

#### 氷上回廊

京都府木津川市 今井 直

国府巡りで訪ね歩く所は、国府(国衙、国庁) 国府巡りで訪ね歩く所は、国府(国衙、国庁) 国府巡りで訪ね歩く所は、国府(国衙、国庁) 国府巡りで訪ね歩く所は、国府(国衙、国庁) 国府巡りで訪ね歩く所は、国府(国衙、国庁) 国府巡りで訪ね歩く所は、国府(国衙、国庁) 国府巡りで訪ね歩く所は、国府(国衙、国庁) 国府巡りで訪ね歩く所は、国府(国衙、国庁) 国府巡りで訪ね歩く所は、国府(国衙、国庁) 国府巡りで訪ね歩く所は、国府(国衙、国庁)

神令国家の正史である。 世の諸事が分かる百科事典でもある。 時の諸事が分かる百科事典でもある。 時の諸事が分かる百科事典でもある。 時の諸事が分かる百科事典でもある。 は、『延喜式』の「神名帳」に記載された格式高いた。 「延喜式」と『和名類聚抄』(略称『和名抄』)も 国府巡りに欠かせない。大宝律令の制定(701)から既に二百年を経て、実情に則して補足や修正を が、その施行細則を集大成した は、『延喜式』の「神名帳」に記載された格式高い は、『近喜式』の「神名帳」に記載された格式高い は、『近喜式』の「神名帳」に記載された格式高い

> 国の北部が分割されて丹後国となった。通常、 前・越中・越後」、「吉備は備前・備中・備後」の 国後の国名は都に近い順に、「高志(= 越) 六年は西暦七一三年、平城京遷都の直後に、 について『和名抄』に、 前」とされなかった。 ようになるのだが、なぜか丹波は丹後に対して「丹 った国府から京の都へは、 「五郡" | 置ク||此/國" | 」とあり、天橋立付近にあ 帰りは手ぶらで四日の道のりと分かる。 行程上七日下四日 私は古代山陰道を調べていた。 「丹後國 税を運ぶので七日かか 和銅六年二割元 國府公 \_\_丹波國 丹後国 が越 丹波 和銅 分

りとなりそうなのが、写部神社。 市氷上町石生のあたりに比定されている。 また地理的条件を考慮して、星角駅は現在の丹波 距離がおよそ三十里(約16㎏)ごとの原則に従い、 索しても星角駅の痕跡は皆無のようだ。駅家間の 駅の推定地には石碑が建っているが、ウェブで検 ずみ」、この駅家の名が気になった。野口駅・小野 の駅馬が配置されていた。「星角」と書いて「ほし 野口・小野・長柄・星角・佐治」の各駅家に八頭 造の立派な佇まいだ。 の創建と伝わる式内社で、 った。『延喜式』の記述では、丹後国には「大枝・ するために駅馬を常備した宿泊設備「駅家」 都と国府を結ぶ古代官道には、官人の往来に供 杉木立に囲まれ三間流 和銅三年(710) 手がか があ

の吉野山上千本には「吉野水分神社」(世界遺産)桜の名所である。「水分れ」とは、はて?...奈良辺は「水分れ公園」として整備されており、春は神社の前を清らかなせせらぎが流れている。周

わかれ」とは?から「みくまり」と呼ばれるが、氷上町石生の「みがある。程よく「水配り」する神様を祀るところ

双方の起点である。峠に降った一滴また一滴の雨水方の起点である。峠に降った一滴また一滴の雨を呼ばれるが、石生では全くの平坦地で分水する。と呼ばれるが、石生では全くの平坦地で分水する。と呼ばれるが、石生では全くの平坦地で分水する。と呼ばれるが、石生では全くの平坦地で分水する。と呼ばれるが、石生では全くの平坦地で分水する。と呼ばれるが、石生では全くの平坦地で分水する。という、「ひるがの分水嶺公園」(岐阜県郡上市)を以前、「ひるがの分水嶺公園」(岐阜県郡上市)を以前、「ひるがの分水嶺公園」(岐阜県郡上市)を以前、「ひるがの分水嶺公園」(岐阜県郡上市)を以前、「ひるがの分水嶺公園」(岐阜県郡上市)を以前、「ひるがの分水嶺公園」(岐阜県郡上市)を入った。

出会うのだろうか?

出会うのだろうか?

が前、「ひるがの分水嶺公園」(岐阜県郡上市)を以前、「ひるがの分水嶺公園」(岐阜県郡上市)を対が日本海と太平洋どちらに到達するのか大きな対が日本海と太平洋どちらに到達するのか大きな対が日本海と太平洋どちらに到達するのか大きな対が日本海と太平洋どちらに到達するのか大きなで行方を見守った。分かれて旅立った笹舟はまたで行方を見守った。分かれて旅立った笹舟はまたで行方を見守った。分かれて旅立った笹舟はまたで行方を見守った。分かれて旅立った笹舟はまたで行方を見守った。分かれて旅立った笹舟はまたで行方を見守った。分かれて旅立った笹舟はまたで行方を見守った。分かれて旅立った笹舟はまたで行方を見守った。分かれて旅立った笹舟はまたで行方を見守った。分かれて旅立った笹舟はまたで行方を見守った。分かれて旅立った笹舟はまたが、

公中にあたります」と言って、彼は観光者向けの水口があった。すると、公園を掃除していた市のた人工の分岐点ですが、一目で水分れをご理解いた。分水点が日本海へ約70km」「□瀬戸内海へ約70km」の標識が立って70km」「□瀬戸内海へ約70km」の標識が立って70km」「□瀬戸内海へ約70km」の標識が立ってであることに、私は目を丸くした。「偶然ですよ。こは東経135度04分ですから、東西にもほぼ真いた。分水点が日本海と瀬戸内海のちょうど中間であることに、私は目を丸くした。「偶然ですよってがあった。すると、公園を掃除していた市の水口があった。すると、公園を掃除していた市の水口があった。すると、公園を掃除していた市の水口があった。

パンフレットを取り出した。

央分水嶺を実地踏査した結果、 している。 に耳を傾けた。 水界」となった.....。 最低地点で、丹波の水分れは の 3026m、北海道の新千歳空港が標高 13.7m で の生態系も異なるという。近年、 それによると、 この線を境に気候はもちろん、動植物 日本列島をまるで背骨のように縦断 太平洋側と日本海側を分ける中 私は暫し、 「本州一低い中央分 最高地点は乗鞍岳 彼の丁寧な説明 日本山岳会が中

隣です」と紹介された。 える。「ぜひ水分れ資料館を覗いて下さい。神社の ありません。」本州の内陸部なのにずーっと平坦な 標高100mの石生から70kkの道のりなので、勾配 る。「イナゴ(175号線)でよく明石へ出かけますが 石生が中間点で、 ある。兵庫県明石市を起点に、当地丹波市氷上町 加古川・由良川にほぼ沿って走る国道 175号線が って流れている。だが、氷上盆地に立って山並み 山地だ。由良川水系も加古川水系もその谷間を縫 は700分の1、つまり 700m 進んでも1㍍の高低 を眺めていると、標高がわずか95mとは信じ難い。 「車で走ってみれば分かりますよ」と彼は言う。 周囲を見渡すと、山々が連なって見える。 京都府側も同様で、 狭い日本の自然地形としては奇跡と言 京都府舞鶴市に至るルートであ 峠や山越えは一つも 中国

とから、誰が名付けたか「氷上回廊」。全長はまれた谷あいが廊下のように細長く続いているこを、立体の地形模型で展示している。山と山に挟を、立体の地形模型で展示している。山と山に挟を入館では、瀬戸内海と日本海をつなぐ両水系

140kmに及ぶ。今より二万五千年以上前から人々 140kmに及ぶ。今より二万五千年以上前から人々 がこの地に住み着き、季節移動するナウマンゾウ がこの地に住み着き、季節移動するナウマンゾウ がこの地に住み着き、季節移動するナウマンゾウ

ら高瀬舟。 使われていた。高瀬(= 浅瀬) でもこぎ上げられる さ4㍍の堀割は今も大量の水を流している。 舟運は役目を終えたが、長さ180以・幅8以・ ために明治初年に岩石を開削して掘割水路が造ら 船に移し替えねばならなかった。これを解消する れた落差3片の激流である。 大の難所があった。中国自動車道・滝野社IC近く めたという。 播州鉄道(現JR加古川線)が開通したからである。 になった。しかし、それも長く続かなかったのは、 しかかると、積み荷は激流の向こう側で待つ別の ように、底を浅く平らにした荷物運搬用の舟だか 両水系とも早くから物資の輸送に大型の 「闘龍灘」 高瀬舟が荷を積み替えせずに通過できるよう 長さが約6以で米なら十五石ぐらい積 しかし、 だ。川床一面に起伏する奇岩に阻ま 加古川の中流域に舟運の最 高瀬舟が闘龍灘にさ 川 船が

であった。しかし時代の流れで物流システムが変パナマやスエズ運河に匹敵する夢のプロジェクトら海産物や米などを、下関の海峡を経て上方へ運建設する計画があった。実現すれば、日本海側か戸内海を舟運で繋ごうと、丹波の水分れに運河を戸内海を舟運で繋ごうと、丹波の水分れに運河を戸内海を舟運で繋ごうと、丹波の水分れに運河を

開通によりこの夢は消えた。わり、明治三十二年、阪鶴鉄道(現JR福知山線)

らなかった。 考に値する。 没を語り出した。日本海と瀬戸内海の両方から河 だ。両者を比べて、 が割れて回廊ができるという正反対のストー 笑い話で済ませるだろうか。C・ヘストン主演の なとタカを括りたくなる話である。しかし、SF 生まれて、本州が東西に分断される! そんなアホ 水の「合流点」となり、更に氷上海峡 上昇すると.....」と、ジオラマを操作して日本沈 したが、地球温暖化により万が一、 『十戒』や天童よしみが唄う『珍島物語』 だろう?地球温暖化が懸念されている今日、 が逆流し、氷上分水界は「水分れ」ではなく海 資料館のガイドさんは、「氷上 結局、 果たしてどちらの可能性が高 星角駅に繋がる糸口は見つか 運河の建設は 海面が 100公 (仮称) が は、 ij l 海

デジタルコレクション』『国立国会図書館外波市観光振興課本分れ資料館



### でさと暮らし(5)

#### さと女

秋を感じる。の子供たちで賑わい、そして此処でもたくさんのら"へ・・・。今日は月に一度の縁日、たくさんらがへいいない。

たくさん、いただいて帰って来た。
して突然の柿狩りに変更・・・。思わぬ柿を沢山持ってねえのか?」と声がかかる。それから2人んな中を散歩していると、柿畑から・・・突如「袋んな中を散歩していると、柿畑から・・・突如「袋も収穫真っ盛りで賑やか、そしてオレンジ色。そも収穫真っ盛りで賑やか、そしてオレンジ色。そまたまた柿の話。八郷は何処も彼処もオレンジ・またまた柿の話。八郷は何処も彼処もオレンジ

います。
います。
います。
の本語を、色々と変化があって楽ります。
これからは紅葉が楽しめますね。辺りしいです。これからは紅葉が楽しめますね。辺りしいです。これからは紅葉が楽しめますね。辺り

と同級生。 
との、 
との、 
との、 
との、 
との、 
との、 
と

かに出かけたくなった。海方面に行くか・・・?・穏やかな気持ちのよいお天気に誘われて、何処

山方面に行くか・・・?今日は何度も行ったこと山方面に行くか・・・?今日は何度も行ったこと山方面に行くか・・・・?今日は何度も行ったこと山方面に行くか・・・・?今日は何度も行ったこと山方面に行くか・・・・?今日は何度も行ったこと山方面に行くか・・・・

配日・・・。いつもありがとう。
います。なんか素敵・・・野菜さん喜んでいるみいます。なんか素敵・・・野菜さん喜んでいるみので二個作り交互に配達してもらい野菜宅配用にクラフト紐で大きめの籠を作った。



### おすすめの本9

#### 燕石(えんせき)

ょう。 はおすすめの映画をご紹介することにいたしましばおすすめの映画をご紹介することにいたしましばおするのですが、今回

### 「ポリス・アカデミー」

カ。) プスティック・コメディー映画。(略称:ポリ・アー1980年代に大ヒットしたアメリカのスラッ

した。 続編も4本ほど作られている、人気シリーズで

ルになっているようです。なしなのですが、どうやらニューヨーク市がモデなしなの警察学校が舞台のお話。勿論架空のおは

な真面目なお方にはお勧めいたしません。かとばかり続くので、ブラックユーモアがお嫌いかなり下品なシーンが、これでもか、これでも

を、警察官にしようともくろみます。破り、箸にも棒にもかからない、ろくでなしたち数十人の男女の集団。女性市長は、従来の慣例をによって、全米から集まった落ちこぼればかりの新しく市長になった女性市長の突然の方針変更

その部下の教官は、悪意のかたまりのような警おとぼけのラサール校長さん。

れがまた典型的なゴマすりコンビときている。

中に二人ほどはまともな奴が出てきますが、

の存在も匂わせています。
の失点も画策。この警部の背後には、市長の政敵の失点も画策。この警部の背後には、市長の政敵で、落ちこぼれたちを一人残らずいびり出しラサ部。こいつは秘かに校長の座を狙っている。そし

ハイタワーという怪力の黒人の大男。助手はデカパイの鬼のような女巡査部長。

小心者の黒人女性。

男。 銃マニアで軍事マニアのタックルベリーという

のもととなる男。
悪気は全くないのですが、行く先々でトラブルんな人生に飽き足らず警官を志願した美人。

学させられた主人公の男。
務所入りと引き換えに、無理やりアカデミーに入非行歴を見かねた叔父の警察署長によって、刑早々女子宿舎に女装して忍び込んだりする始末。

る。 ている。特に主演男優に対するいびりがひどくな 生徒たちには、連日、軍隊張りのしごきが待っ

めていこうとする。くいった。ハイタワーはやめてしまい、主演もや次々と脱落してゆく。警部の計略はまんまとうま警部の作戦が功を奏して、落ちこぼれたちは

ピラ集団と乱闘になる。それが居酒屋に飛び火した町のチンピラたちに当り、居合わせた別のチン捨てた、たった一個のリンゴ。それが通りかかっ市内の巡回に出掛けた、トラブルメーカーが投げるのとき、市中に暴動が発生する。きっかけは

で、やがて下町一帯の大騒動になる。この騒ぎにて、やがて下町一帯の大騒動になる。この騒ぎに

**危険地帯の真っただ中へ行ってしまう。**れたところのはずが、ラサール校長のトチリから動命令が下る。配属エリアは、暴動ブロックを外ーの見習警官たち数十人に、後方支援のための出ー警察の要請を受けて、急きょポリスアカデミ

というストーリー。ここから、落ちこぼれたちの大活躍が始まる。

者には、こっちのほうがずっと面白いのです。といどで流される、まじめなケイサツものより、筆を込めて作られています。日本で毎日のようにテています。また、根深くある人種差別にも、皮肉ではして、アメリカの警察機構を笑いものにし

いくつかの疑問は残ります。衆院選はほぼ思った通りの結果におわりました。

うしだいです。 ころです。たまには先手対応できないものかと思はほぼ進まず、再拡大あったらお手上げというとはほぼ進まず、再拡大あったらお手上げというとままがら本格的な冬に突入します。コロナ対策非難の応酬と、陰での買収行為もあったようで。

〈SDG sとは〉

ローガンということらしい。いった三本の目標が国連から提示されて、そのス気候変動、人権、多様性の概念を許容する社会とズ、というそうな)という言葉が言われだした。ここにきて、しきりにSDGs(エスディジー

これまでも、ちらほら目にしてはいたが、レイ

ンボルのようである。ンボー柄の丸いバッジは、このSDGs支持のシ

うのだ。 それはいいのだけれど、ちかごろ芸人たちが取らのだ。

のが今までの此奴らのやり方です。 で、そのつど苦笑い位でごまかしてしまうというがどっかから支払われているのでしょうね。このがどっかから支払われているのでしょうね。このがとっかから支払われているのでしょうね。このが今までいるとはとうてい思えません。世間の流理解しているとはとうてい思えません。世間の流っが今までの此奴らのやり方です。

すが。 に減り続けています。統計グラフが正確ならばで 先月あたりから、新型コロナの感染者数が急激

るためと言っているようです。ことですが、再度のパンデミックの発生を予防すいうそうで。12月から前倒しで接種するというかしきりに言い出しました。ブースター接種とかところがここへきて、ワクチン接種の3回目と

がメドだということですが、急に六か月後と言っようです。なんでも、二度目の接種から八カ月後には対応できずに、いらざる混乱をきたしている最前線になる自治体の側としては、そんなに急

あくまで隹案こなるのですが、急激な曽童で、力が急に減るということも言われています。たりもしています。半年過ぎたあたりから、免疫

ないのでしょうかねえ?世界的にワクチンの総数がダブつきだしたのではあくまで推察になるのですが、急激な増産で、

のではないのでしょうか。はなく、時間の経過とともに急激に効果が落ちるワクチン効果も、言われていたほどの効果期間

ず、再び感染の拡大が起こっています。 ヨーロッパなどでは、接種%のいかんに関わら

もかかわらず、ちゃんとした検証は今回もなされーイケタに上る死者やその数倍の重症者があるに症は重くなるのではないのでしょうか?ーまた、二度目よりも三度目の方が、さらに後遺また、二度目よりも三度目の方が、

ぬままなのでしょうか。

れば、倒産もあり得るわけですから。
致命的損失となります。投下資本を回収できなけ失敗に終わればいくら巨大製薬会社といえども、がら数兆・数10兆の巨額の金がかかりますが、新しいワクチンの開発・製造には当然のことな

に反省したという記憶はありません。かつて薬害を引き起こした張本人たちが、誠実

べて、石油由来の薬品です。
ないか、という研究論文が発表されました。すその結果ウナギの稚魚を絶滅状態に陥らせたのでその結果ウナギの稚魚を絶滅状態に陥らせたので、除草剤、化学肥料が、河川を経て海洋に流れ込み、無害といわれて長年使われ続けていた大量の農薬、無害といわれて長年使われ続けていた大量の農薬、無害といわれて長年使われ続け金く取れなくなったのは、

うで。)(どうも、生来の疑り深さからは抜けられないよ

女と男の付く地名

です。楽しいクリスマスが迎えられると良いのでも流れだして、年末も近しと思わせる今日この頃TVからはちらほらと、豪華おせち料理のCM

# 御留川(おとめがわ)便り 】 伊東弓子

# 茨城県の難読地名とその由来(18)

木村進

男神おがみかすみがうら市女化おなぬま古賀市女方おなばけ龍ケ崎市、牛久市女方おびかた筑西市(下館)

かた は読みにくい地名だ。ここにあげた4つがあったが、最初の女方=おざい。 でも茨城県には意外に少ない。全国に「女」や「男」という字が入る地名は数多

### (1) 女方【おざかた】

大方は筑西市(旧下館市)の鬼怒川左岸にある。 下館駅の西側、「川島」駅の南側です。 この鬼怒川左岸の台地(河岸段丘)には「女方遺この鬼怒川左岸の台地(河岸段丘)には「女方遺この鬼怒川左岸の台地(河岸段丘)には「女方遺この鬼怒川左岸の台地(河岸段丘)には「女方遺この鬼怒川左岸の台地(河岸段丘)には「女方遺この鬼怒川左岸の台地(河岸段丘)には「女方遺この鬼怒川左岸にある。 下館駅の西側、「川島」駅の南側です。 下館駅の西側、「川島」駅の南側です。 たもの(人面付壺形土器:東京国立博物館所蔵) たもの(人面付壺形土器:東京国立博物館所蔵)

また江戸初期の17世紀半ばには鬼怒川を水運とまた江戸初期の17世紀半ばには鬼怒川を水運とまた江戸初期の17世紀半ばには鬼怒川を水運と

が発見されています。

りの地形に関係しているのかもしれません。また鬼怒川もかなり暴れ川であったのでこのあた

このです(ふざいこ)こので発用さればらら。説がついているものが多くあります。全国の「女」と付く地名の多くに名前の由来に伝

聞くと「女館(おんなかん)」が「女方(おざかた)」 そして桔梗の前は、この女方の「女館」に住んで その場所がこの女方だというのです。こんな話を されてしまいました。」(御伽草子の俵藤太物語) 梗の前が藤原秀郷に教えたため、将門はついに倒 す。将門には何人も影武者がおり、また不死身で た藤原秀郷(俵藤太)が送ったスパイだったので いました。しかしこの桔梗の前は将門を狙ってい はとても美人で将門は特に可愛がっていました。 が何人かおりました。その中の一人「桔梗の前」 この女方(おざかた)にも平将門伝説がある。 てしまったのはさみしいです。 に変化したとも考えられます。それにしても「館 しかし本物はこめかみに弱点があることをこの桔 あり、どうしても倒すことができなかったのです。 「将門には正妻と言われた「君の前」のほかに妾 (やかた)」という字がつく歴史的に重要な「下館 (しもだて)」という地名が消えて、筑西市になっ

### (2) 女化【おなばけ】

と前からあるともいろいろな説があるようです。室町時代末期の1509年に創建された説やもっな化(稲荷)神社の創建ははっきりしませんが、変化(稲荷)神社の創建ははっきりしませんが、ツネの伝承によるといわれています。また女化(稲荷)神社の創建ははっきりしませんが、ツネの伝承によるといわれています。また女化なっていますが、ここにある「女化稲荷神社」は女化(おなばけ)は住所表記では牛久市女化町と女化(おなばけ)は住所表記では牛久市女化町と

社」に改名されています。 「変更されたのですが、また明治17年に「女化神「女化稲荷社」となり、明治2年に「保食神社」昔の神社名は「稲荷大明神」と呼ばれたものが、この神社の祭神は「保食神(うけもちのかみ)」で、

郎というやさしい若者がいました。「むかし、根本村(現在の新利根村根本)に忠五

大流で変(むしろ)を売っての帰り道、大小で、出土浦で変(むしろ)を売っての帰り道、はいかで、出土がではいたので、出土のがました。「ひとの仕事を邪魔しやいたので、忠五郎が大きなせきばらいをしてきついたので、忠五郎が大きなせきばらいをしてきついたので、忠五郎が大きなせきばらいをしてきついたので、忠五郎が大きなせきばらいをしてきついたので、忠五郎が大きなせきばらいをしてきついたので、忠五郎が大きなせきばらいをしてきついたので、出土浦で筵(むしろ)を売っての帰り道、大小では、おなばけがは)にさしかかると一人の強化が原(おなばけがは)にさしかかると一人の強になって、出している。

になりました。した。そこで娘は忠五郎の家にしばらく居ることした。そこで娘は忠五郎の家にしばらく居ること金)を持ち逃げされてしまったと娘が泣いていま翌朝、忠五郎が目をさますと、下男に路銀(お

と腰を抜かさんばかりに驚き、父親のところで気だ
 大変だ
 な尻尾(しっぽ)が出ているではありませんか。個に恵まれました。ある秋の日、八重は竹松の添供に恵まれました。ある秋の日、八重は竹松の添供に恵まれました。ある秋の日、八重は竹松の添けたちがら帰ってきた子供たちが見ると、母親に大きな尻尾(しっぽ)が出ているではありませんか。本せな家庭に8年の月日が流れ、鶴、亀次郎、竹松という三人の子の月日が流れ、鶴、亀次郎、竹松という三人の子の月日が流れ、鶴、亀次郎、竹松という三人の子の月日が流れ、鶴、亀次郎、竹松という三人の子のとは思われない美しい。

みると八重の姿はなく、 ろへとんでいきました。 忠五郎が急いで帰って

涙ながらに呼びかけました。すると中から出て来ておくれ。」と出て来ておくれ。」と出て来でした。「おっ母!出て来ておくれ。」とはあの女供を連れて、きつねの足跡をはずと答えよ」という書き置きだけがありました。「みどり子の母はと問わば女化の原に泣く泣く

と声がしました。「こんな姿になって、もう会うことは出来ません。」

す。」と泣きながら走り去りました。
「ほんとうに驚かないでくださいね。」と一匹の「ほんとうに驚かないでくださいね。」と一匹の「どんな姿でも驚かないから出て来ておくれ!」

(牛久市観光協会、娘に化けた狐のはなし(女化「お穴」として祀まつられています。」 この穴は、女化稲荷の北方300m位の所にあり、

原の狐伝説)より)

あります。

の子孫が、戦国時代の牛久城主岡見宗治に仕松」の子孫が、戦国時代の牛久城主岡見宗治に仕松」の子孫が、戦国時代の牛久城主岡見宗治に仕松」の子孫が、戦国時代の牛久城主岡見宗治に仕松」の子孫が、戦国時代の牛久城主岡見宗治に仕

の看板を見ました。この地を廻っていると、「女化騒動・牛久助郷一揆」

が、その制度の延期を測る名主などに反発しておは助郷制度という制度に悩む近隣の村の農民たち門の居宅などを打壊して騒動となりました。これ百姓たちが徒党を組み、牛久宿問屋の麻屋治左衛1804年10月に、この女化原に周辺55ヶ村の

に。「佐倉藩」で、2つの藩の先陣争いも見られまし「佐倉藩」で、2つの藩の先陣争いも見られまし領で、ここに鎮圧に駆け付けたのが「土浦藩」とこしたものでした。 この場所は、幕府の直轄天

なっていると考えられる場所です。いずれにしても女に化けたキツネが地名の由来に

### (3) 女沼【おなぬま】

根川にそそぐ一級河川です。女沼川は茨城県と栃木県との県境に源を発し、利れる「女沼川」は「めぬまがわ」と読む。女沼は地名では「おなぬま」と読むが、近くを流女沼は地名では「おなぬま」と読むが、近くを流

いう名前の方が多い地域です。という名前の方が多い地域です。におりや)」さんとたりに沼があっても不思議ではありません。た。この地域は川が数本入り組んでおり、このあすが、現在は古賀市ですが、合併前は総和町でしまた女沼とよばれる地名はこの川に添ってありままた女沼とよばれる地名はこの川に添ってありま

話などが残されています。の名前がありますが、その多くに伝承としての昔全国的に見ると「女沼」「化女沼」などの地名や沼

が、今のところ見つかっていません。この古賀市の女沼にまつわる話も探してみました

### (4) **男神**【おがみ】

りにあります。わた)と安食(あんじき)とを結ぶ線の中間あたわた)と安食(あんじき)とを結ぶ線の中間あた男神はかすみがうら市の旧出島地区、牛渡(うし

の近くの地名は「男神」だけです。3つの名前が隣接してある場所がありますが、こ静岡の牧之原には「男神」「女神」「鬼神」という

伝説があります。 しかし、この近くの「歩崎観音」 には「竜女」

れる縄文時代の遺跡があります。また、この地には「男神遺跡」「男神貝塚」といわ

もありそうな気がします。
もありそうな気がします。
などが言葉の語源という場合にの場所は「拝む」などが言葉の語源という場合との場所は「拝む」などが言葉の語源ということでスサタケミカヅチなどの神が由来であったり、大岩信仰が由来の元であったりします。しかし、大岩信仰が由来の元であったりします。とがは、「おかみ」とあります。

# 常陸旧地考(18) 菊地麦

下巻 (十二) 完

#### 〇尺丈山

というとあり、いまなおあり。地の人その鳥子山の北にあるのをもって、鳥北山山の北、久慈郡界にあり、よく雷雨を起こす。土國誌に、尺丈山(錫杖の字に近し)那珂郡鳥子

#### 〇武生山

國誌に久慈郡武生村と見えたり。

#### ○見国山

ある故なりと見える、いまなおあり。慈川の以南、河内郡の以北、ことごとく目の前につの山も無きゆえにそれ登れる、南を望み即ち久を以て名と為したるは、その山の南数百里の間一西六七里に在り。山はなはだ高からず。その国見國誌に、見国山(くにみやま)久慈郡大田郷の國誌に、見国山(くにみやま)

#### ○真弓山

あらず) (天狗は日本の俗に所謂魍魎のたぐい、天狗星に(天狗は日本の俗に所謂魍魎のたぐい、天狗星にお「堪えず。土地の人伝えるに、山中天狗ありとらに堪えず。土地の人伝えるに、山中天狗ありとなに堪えず。土地の人伝えるに、山中天狗ありとない、真子山(まゆみさむ)久慈郡見国山の國誌に、真弓山(まゆみさむ)久慈郡見国山の國誌に、真弓山(まゆみさむ)

に帰す、即ちやむ云々と見える。今なお在り石を以てその屋上を撃つ。その人悔んで白石を山甚だ白石を愛する人有り。白石を取る。夜必ず

#### ○金澤山

の東にあり。黄金出る。山上神祠あり、今なお在國誌に、金澤山(かなさはやま)久慈郡真弓山

#### ○東金砂山

ŋ

丈、よく雷雨起こる。高倉村の東、多珂郡境にあり。聳え立つこと数百國誌に、東金砂山(ひがしかなさやま)久慈郡

りその神霊験あり。土地の人祭りをす。七十二年国のいわれに曰く、金砂の雷一国両山上神祠あ

お在り。祭りもまた絶えず。
技、田楽に田人楽と名付けて曰く、と見ゆ、今なに一度大祭あり。その日田楽あり。様々な踊り雑

#### ○西金砂山

神に嫁ぎ夫婦となるというと見ゆ。地の人相伝え、この神女神なり。かつて東金砂山宮川東にあり。険阻東金砂山に同じ。神祠あり土國誌に、西金砂山(にしかなさやま)久慈郡上

#### 一花園山

これ征夷大将軍坂の上田村麿なりと見える。今なこれ征夷大将軍坂の上田村麿なりと見える。今な、いま郡図を以てこれを考えるに多珂郡内にあり、、工のでは、の、、工のでは、一、大田の大田に、一、大田の大田の大田の はなそのやま)東鑑を考えるの誌に、花園山(はなそのやま)東鑑を考えるの誌に、花園山(はなそのやま)東鑑を考えるの誌に、花園山(はなそのやま)東鑑を考える

#### 八溝山

いにしえ黄金を掘る所なり。国久慈郡に属す。山中金穴多し(俗に言う魔符)郡に属す。西は下野国那須郡に属す。東南皆常陸三国(常陸下野陸奥)堺あり。その北陸奥国白川國誌に、八溝山(やみそさむ)。今、郡図を以て

八溝黄金神に封戸二烟あて詔奉る云々。36)春三月乙丑、陸奥国白川郡従五位下勲十等藤原義房の続日本後記に、仁明天皇承和三年(8

の大山、筑波山を除き他にこの山の右に出るもの山頂神の祠あり。けだし所謂黄金神なり。本国而して今常陸国に属すは後人の所為也。

無し、と見えたり。

#### ○石那坂

らず。 き以て石那坂は陸奥國に在り、 を陸奥の国に出し押領使藤原泰衡を攻め、川邉高 えるに、文治五年(1189)八月、源頼朝、兵 からず。けだし後人これ知るべき云々。東鑑を考 界にこの坂上あり。 はそれ嶮を守り万夫過ぎる能わずの地なり。坂東 く狭く、僅かに両馬を入れる。いわゆる、 にあり。坂上坂下に至る。二、三里みち甚だ険し 久慈郡に属す。 即ちこの坂上、 両郡界なるよろし 大野在り。甕原曰く、東に活水の洞有、泉河湧く。 今郡図によってこれを考うるに、久慈多珂の郡 國誌に、石那坂(いしなさか)久慈郡金澤山麓 伊賀良目高重など石那坂上陳逢隈河の水を引 しかと源順氏書き考え助川郷 本国の石那坂にあ ひとつ

#### ○諏訪穴

さ四五十丈。 國誌に、多珂郡諏訪邑に穴あり、広さ丈余、深

#### ○杉窟洞

巣在り。俗に天狗窟という。道を狭め、大きさ三四圍路程六七里、洞奥に大鶻川郷の北にあり。洞は二つの山の間にあり、大杉國誌に、諏窟洞(すきのむろのほら)多珂郡助

#### 〇三日原

國誌に、三日原(美加乃波良)多珂郡森山東に

ちその原なりと。非なり。 號あるを以て、訛り伝えて曰く、歌書所謂甕原即あり甕原に作る。方言相近く、土地の人その甕原

歌書のいわゆる甕原は、これ大和國に在り

#### ○月折山瀑布

#### ○袋田温泉

在り。よく男女の百病を治すという。 | 國誌に袋田温泉(布久呂太)月折山の下袋田:

#### ○出水河

歌書に所載はこれ大和國桃河なり。歌書にいわゆる泉河即ちこれ也と。実にしからず、地の人、その甕原近くをもって、訛り伝えて曰く。地の人、その甕原近くをもって、訛り伝えて曰く。上を聴くと、たちまち湧き起こり、沸湯の如し。土國誌に、出水河(以豆美加波)泉河に作る。相國誌に、出水河(以豆美加波)泉河に作る。相

#### 〇大北川

海に入れる。 つは横川山より出て、石岡村で合流大北川となりにあり、水源二つあり、一つは花園山より、ひと國誌に、大北川(於保木多加波)多珂郡磯原村

文政十二丑年三月 (1829)

注記:〔〕内は補足した。

必要に応じて()で読みを記した。適宜句読

また改行も行った。

### 参考資料及び引用文献:

新編常陸國誌 鬼澤大海 大越直子著 崙書房 ふるさと文庫

古事記

續日本紀

常陸国風土記

出雲国風土記

播磨国風土記

肥前国風土記豊後国風土記

風土記逸文

倭名類聚抄

万葉集

水戸」となっていた。

中貫-稲吉-府中(石岡)-竹原-片倉-小幡-長岡

金槐和歌集

日本三代實録 可馬遷 史記

広辞苑 4版

詳解漢和辞典 冨山房 昭和2年改訂増補版

大漢和辞典

繁体字版 日中辞典

デイリーコンサイス中日・日中辞典

字質解

字字訓通

新漢和辞典 ほ

いたい。
出稿に対して、誤りのある所はどうかご教示願

込の素人なので、その点はご容赦願いたい。かなりの疎漏があると思われますが、にわか仕

<u>J</u>

# 石岡地方のよもやま話 木村 進

## (4) 陸前浜街道と杉並木

一水戸街道の府中宿場でした。江戸時代の石岡は江戸と水戸をつなぐ江戸街道

小金-安彦-鳥手-藤代-若柴-牛久-荒川-中村-土浦江戸--水戸間の宿場町は「江戸-千住-新宿-松戸-前浜街道と呼ばれていました。(岩城相馬街道)が続いており、全体として陸しかし水戸から先も海寄りに宮城県岩沼市まで街

あった。 八坂神社となり、その後総社宮に合祀された)がい」の場所付近に谷口本陣と天王社(明治になり泊まった宿場で現在の中町にあるパン屋「ヴィオ府中(石岡)は水戸藩主たちが江戸との往来時に

ていたが、今は何も残されていない。

ていて。線の線路の上を通ってそのまま杉並の方に曲がっ線の線路の上を通ってそのまま杉並の方に曲がって泉町を通り、常磐街道は現在の石岡の中町・香丸通りを通り、「国分

おり、その先に昭和30年頃まで日光杉並木のようこの杉並の入り口に「石岡の一里塚」が残されて

2kmにわたって続いていた。な樹齢250年ほどの大きな杉の並木道が約

木が許されたという。り、水戸(徳川)藩とは親戚関係があるので杉並松並木などが多いが、ここ府中は松平2万石であ松戸時代はあまり杉並木を作ることが許可されず、

石岡に帰ってきたとの思いが沸いてきたという。らもこの杉並木が良く見えたといい、石岡の人は鉄道で水戸方面からくると、石岡駅手前に遠くか

まあ追剥が出るなどとの話もあり、あまり町の人発展に邪魔だと切り倒されてしまった。しかし、この杉の木も手入れは結構大変で、町の

したといわれている。
この杉並木の水戸寄りの入り口付近に「茶屋場」
この杉並木の水戸寄りの入り口付近に「茶屋場」
江戸時代は水戸から藩主などが府中に来るときは
には歓迎されなかったようだ。

昔は大きな松の老木(延齢の松)があり趣を残し坪ほどだったという。で少し左に入ったあたりにあり、面積は200現在「茶屋場住宅前」信号から少し水戸側から来

盛りされていたという。っていて残っている。この杉並木は両側が高く土杉並木のあったところは地名として「杉並」とな

その面影は少しだが残っている。今でも一里塚の榎の根元が盛り上げられていて、

木が続いていたという。く柿岡街道があるが、こちらは鹿の子の先に松並また、若松町の方から鹿の子を通り、柿岡まで続

### (5) 明治期の石岡の産業

#### 1) 醤油醸造

#### 2) 酒醸造

#### 3) 製糸産業

ガ造りだった)がそびえていた。 場油や酒の醸造所が高浜を含む市内にはたくさん な子規は「石岡は醤油の名處也」と書いている。 象を子規は「石岡は醤油の名處也」と書いている。 のの印 中で石岡に宿泊している。そこで当時の石岡の印 中で名岡に宿泊している。そこで当時の石岡の印

道が開通したのは明治28年だった。この明治22年はまだ常磐線が開通しておらず、鉄

それは町の財政の話だ。ここに少し面白い内容があるので紹介しておこう。平野松次郎氏の「石岡繁昌記」がある。平野松次郎氏の「石岡繁昌記」がある。

で下記数値には高浜は含まれていないと思われる。で、石岡町に編入されたのは昭和28年であるのただし、高浜が村から町になったのが明治22年

· 酒醸造: 税金 145,310 円 石高 12,102 石

· 醬油醸造:税金 22,312 円 石高 11,156 石

· 蚕絲業:税金 167,350 円 従業者 157 名

· 地祖: 7,901 円

・所得税:2,078円

・営業税:2,378 円

人口:男 6,997人 女 6,718人

・戸数: 2,493 戸

かけ蕎麦などの価格が2銭程度であった時代だ。価格にすれば60~70億円程度だろう。 諸税合算で34~35万円程度であるが、現在の

で、上野-石岡間(蒸気機関車)は約3時間でした。明治38年の石岡駅の時刻表によると上下各6本繁栄・衰退などが見えてくる。

表間時車發塲車停岡石 列 列 上 車 午前 十時廿四分 午前 八時四十三分 午后 十二時五三分 原町行 午后 四時廿九分 午后 五時四十二分 水戶行 午前 八時十八分 午后 七時十五分 午前 午后 三時四十七分 平 行 午后 七時三十六分 水戶行 十時廿六分 七時 一時四十六分 仙臺行 同 同 同 平 间 行

(茨城県全体の20%) 新治郡: 製造所数 49 、生産高 17,458 石された郡別の醤油生産高を載せておきます。

(新治郡の内訳)

・石岡 製造所数 16、生産高 7,639 石

(高浜を含む)

と圧倒的に石岡の方が多いのです。

#### (特別企画)

# 打田昇三の太平記(16)巻第八-1

侵)国なのであろう。 よる戦乱で国が乱れたらしいから日本は先進(戦既に日本では天皇制の本舗争い「南北朝対立」にアメリカ大陸で南北戦争が起こる四百年ほど昔に、アメリカ大陸で南北戦争が起こる四百年ほど昔に、

万世一系と言われる大日本帝国も、実は一系では

貞・名和長年・赤松則村・菊地武時・足利尊氏ら 無く滑稽な権力の奪い合いで繋いで来たらしい。 としては統制が取れず国中が混乱した。其の責任 た多くの武士団が妙な自信を持ち始めたから国家 地方では成り上がり北条政権下で各地域に繁殖し 上層部の権力欲による複雑怪奇な対立に加えて、 征夷大将軍が守邦親王(後深草天皇の孫)である。 原基嗣、右大臣が藤原季衡、内大臣が藤原通顕 白が藤原冬教、太政大臣が藤原兼季、左大臣が藤 の他に現代天皇家に繋がる別な天皇が居て摂政関 此の時代は、どちらが本物かは知らないが後醍醐 までも尾を引き「太平記」も終りにならない。 縁の「権力闘争」に過ぎなかったから戦乱は何時 という新しい政権が発足するのだが、庶民には無 牡丹餅」のように後醍醐天皇による「建武の新制」 の活躍で鎌倉幕府・北条政権が滅ぼされ「棚から 元弘三年(一三三三)六月に、楠木正成・新田 な犯罪であることをお忘れなく。 は思うが、愚かな争いで国民を苦しめたのは悪質 奴隷制と天皇制は質が違う…と言う意見も有ると

は誰がとるのか?

野心家らの動きが目立つ様になる。録である太平記も「巻第八」に入り混乱に乗じたく、どちらも「悪」と言わざるを得ない。その記らしいが南北でも東西でも国民を苦しめた罪は重

# ○摩耶合戦の事、付・酒部瀬河合戦の事

い方に付いたほうが得である。
されたので周辺の武士団は天皇側に味方した。強山に匿われた。其れを追って来た伯耆判官が撃退逃げて来た後醍醐天皇は名和一族に助けられ船上元弘三年(一三三三)二月、隠岐島から伯耆国に

を掛けてきた。 には摩耶城の南麓に着き、求塚・八幡林から攻撃 此の軍勢は、二月五日に京都を発って十一日の朝

余人で襲いかかる。

一万余騎を二月二十八日に支援軍として差し向け状況不利を察した寄せ手の指揮官は退却命令を出状況不利を察した寄せ手の指揮官は退却命令を出状況不利を察した寄せ手の指揮官は退却命令を出れるか、谷底に落ちるかを選ぶしか無い。辛うじれるか、谷底に落ちるかを選ぶしか無い。辛うじれるか、谷底に落ちるかを選ぶしか無い。辛うじれるか、谷底に落ちるかを選ぶしか無い。辛うじれるか、谷底に落ちるかを選ぶしか無い。辛うじれるか、谷底に落ちるかを選ぶしか無い。辛うじれるが伸びてきたのは千騎に満たなかったらしい。然し痛手あるか!」と強気を装っていたらしい。然し痛手あるか!」と強気を装っていたらしい。然し痛手あるか!」と強気を装っていたらしい。然し痛手あるか!」と強気を装っていたらしい。然し痛手あるか!」と強気を装っていたらしい。然し痛手あるか!」と強気を装っていたらしい。然し痛手あるか!」と強気を表っていたらしい。然し痛手がはしている模様…」と報告してきた。幕府は此の参力が伸びてくる前に討ちたいので、掻き集めためたが、前方に対した。

具を乾かしたりしていたのだが、其処へ予想に反 是を知った赤松入道は「少勢力で敵の大軍に勝つ 物を捨てて敵軍に紛れ込んだ。其のうちに敵軍は 辛うじて激戦を生き残った入道以下六騎は目立つ 千と五十では、どの様に計算しても勝ち目は無く、 府軍勢が瀬川に到着している」というだけなので と三千余騎の軍勢を率い摩耶城を出て地の利の良 宿場のはずれに居た別の反幕府軍と合戦を始めた 赤松入道は、五十余騎の部下と民家に立ち寄り雨 には予想外の策略で先制攻撃をかけるしか無い! して三千余騎の敵が押し寄せて来たのである。三 天気も良くなかったので油断をしてしまった。 い久々知・酒部に陣を移した。しかし情報は「幕 「合戦は明日になる」と勝手に判断し、更に少し 幕府軍勢も後からではあるが 入道らは其の味方陣営に逃げ込んで助かっ 「敵は侮り難い

> だけになった。 …」と気付き、宿場外れに陣を置いて様子を窺う

撃に向かった。

撃に向かった。

なので攻撃は掛けず、両軍勢が睨み合いの侭で夜無いけれども、合戦は勝たなければ敗北しか無いと見込まれる。赤松の軍勢は何度も数えてみたが増えない。是ではどの様に戦っても勝つ見込みが増えない。是ではどの様に戦っても勝つ見込みが増えない。是ではどの様に戦っても勝つ見込みが増えない。是ではどの様に戦っても勝つ見込みが増えない。是ではどの様に戦っても勝つ見込みが増えない。是ではどの様に戦っても勝つ見込みが明けた。然し優勢な幕府軍に攻め込まれては不が明けた。然し優勢な幕府軍に攻め込まれては不が明けた。然し、大力をが不力をある。

先ず、筑前守貞範、佐用兵庫助範家、字野能登守 とず、筑前守貞範、佐用兵庫助範家、字野能登守 とず、筑前守貞範、佐用兵庫助範家、字野能登守 とず、筑前守貞範、佐用兵庫助範家、字野能登守 とず、筑前守貞範、佐用兵庫助範家、字野能登守 とず、筑前守貞範、佐用兵庫助範家、字野能登守 とず、筑前守貞範、佐用兵庫助範家、字野能登守 とず、筑前守貞範、佐用兵庫助範家、字野能登守

戻る事が出来た者は僅かであったらしい。 百余人が河原で斬られたが離脱成功者も都へ逃げ 百余人が河原で斬られたが離脱成功者も都へ逃げ は主君を見限り、自分だけは元気一杯で、我先に は主君を見限り、自分だけは元気一杯で、我先に 退却は緊急事態であるから、子は親を捨て、家臣

ところ、息子の帥律師(そちのりつし=僧の階級・勝利した赤松圓心が摩耶城へ凱旋しようとした

勢は幕府軍主力のようですから、 げるを追うにしかず…と申します。 僧兵)則祐が進み出て「軍の利は勝ちに乗って逃 場所には火を掛けながら逃げる敵を追うように都 だが、途中の宿場や家々で敵が潜伏して居そうな けた。一同は是に賛同して宿河原を発ち、酷い話 ば京都まで攻め上りましょう…」と嗾 (けしか) る敵も其の同類ですから、此処で追撃し、出来れ な合戦が出来なかったのでしょう。 へ上って行ったのである。 旅の疲れで満足 逃げ掛けてい 攻めて来た軍

### 〇三月十二日合戦の事

れる天皇方軍勢も酷いことをする。 余か所に火を放った。戦法とは言え、 敵の軍勢が大阪近辺まで攻め寄せ周辺の集落三十 軍が負けて逃げました…」と、思いもよらない報 勝利の知らせを待っていたところに「…実は幕府 れで安心していたことになる。後はのんびりと、 取り敢えず、摩耶城へ大軍を差し向けたから、そ まる対抗勢力増大の兆候を幕府は軽視しており、 夢にも知らず…」とある。 信半疑でいるうちに、三月十二日の夕刻には既に 告が来た。しかし合戦の詳細が分からないので半 原文の書き出しは「六波羅には、 後醍醐天皇の脱出に始 斯かる事とは 官軍と呼ば

其れを忠実に守って川を越えようとはしない。 久我、縄手、西七条から押し寄せた。その中央軍 それに対し赤松入道は三千余騎の軍勢を二分して を前にして敵を防げ!」と命令されていたので、 っていた。しかし此の連中は上層部から「…桂川 ぞ集めた大軍が集結しており多数の旗が秋風に翻 が桂川の岸から対岸の敵を見ると、数だけは良く た桂川を隔てて戦おうとする作戦である。 数だけはようやく二万を揃えた。その軍勢を西朱 とにして京都郊外の武士団にも非常呼集をかけて の合戦は不利」と判断し、 是を見た北条一族の仲時が「此の状態では京都で 西八条方面に差し向けたのは雪解けで増水し 途中で敵を迎え撃つこ

を固くしてから只一騎で川を渡ろうとした。 うなり鎧を肩に掛け、兜の緒を締め直し馬の腹帯 戦(やいくさ)ばかりでは勝負にならん!」と言 次々と矢を放っていたが、それでも満足せずに「矢 祐が馬を降りて徒歩になり、楯で身を護りつつ で時間が過ぎてゆく。其の中に攻撃軍の帥律師則 している。両軍ともに適当に矢を放っているだけ 大軍を隠しているものと勘ぐって攻めるのを躊躇 攻撃する側には有利なのだが、こちらでも敵が

では無いので暫く待て!」と止めた。 綱らが先陣争いで渡河したのは、渡れる場所を事 手に渡ったとしても敵の大軍が待ち構える中に只 は上流の雪解けで水嵩が増し浅瀬が無い。馬が上 前に探り、敵の弱点を突いたからである。此の川 馬を駆り則祐の行く手を遮って「…昔、佐々木高 騎で行けば必ず討たれる。 是を見て、慌てたのは父親の圓心入道である。 合戦は此の時ばかり

中級管理職など役に立たない数百騎に過ぎず、兵 集まったのは合戦経験の少ない武士団や事務職・ ら敵が恐ろしい。上手に逃げたり隠れたりして、 勢は摩耶城攻めから退却して来たばかりであるか 順としては教科書どおりなのだが、主力となる軍 を鳴らして市内の武士団に緊急召集をかけた。手 当然ながら都中は大騒動となり幕府は非常時の鐘

数も少ない上に、

当然だが戦意も戦闘力も元気も

しかし功に逸る則祐はやめる気が無く「…味方の

うが、今は敵の勢力が遥かに多く苦戦は避けられ 勝負してみるつもりです。古代中国の兵法書にも、 を見た家臣たちも後に続くしかない。 す…」と言い放ち、馬に鞭を当てた。 の軍勢を持って敵の強陣を撃ち破る秘策と存じま に乗じ不意を撃つ、とあります。是こそ我が不利 戦に勝つ術は密かに敵状を察して速やかに其の利 は未だ其れを知らずに居ますから運を天に任せて ません。其の状況を敵に覚られれば不利ですが敵 軍勢が敵と同数ならば私が出るまでも無いでしょ は仕方なく激流の中へ飛び込んでいったから、是 叩かれた馬

それでも下流へ一番に上陸して悠々と鎧の水を払 るほどであった。 周囲一面に散らばって追い掛ける軍勢の邪魔にな 其の際に旗や楯などを捨てていったので、其れが た大軍の六波羅勢は戦意を失い慌てて逃げだした。 騎が遠慮なく川を越えて攻め寄せたから、 めて来ない。赤松軍は勇敢な五騎に続いて三千余 っていたので、見物していた二万の敵も恐れて攻 出来たけれども木寺相模は激流に馬を流された。 水泳の上手な馬に乗った宇野と伊東は一気に渡河 木寺相模、宇野能登守国頼の五騎が入ったのだが、 先ず飽間九郎左衛門尉、伊東大輔、河原林二 是を見

りなど五十余か所に火を掛けた。油に火では燃え 集まり只々闇に震えている他は無かったのである。 都の人々は不安だが訳が分からず六条河原などに に火の手が上がった。 が有り、京の都には鬨の声や騒音が鳴り響き各所 るしか無い。七条から九条にかけても両軍の合戦 其の中に攻撃軍は都に近づき堀川、 此の合戦は夜に及んだので 油小路の